

(別紙2-3)

事業所名: サポートピア花水木

作成日: 平成30年9月11日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期ケアにおいて、自然の看取りとは言え、終末期を支えるには、医療的以外も含む知識や技術が必要。職員各自の技術向上が不可欠となる。	基本技術は元より、より深く学び不安のない終末期ケアを支える。	事業所内の研修会や事例検討を年1回以上実施。及び外部の研修にも随時参加して、スキル向上に努める。	6ヶ月
2	49	入居者の外出援助において、個別的な外出援助は定期的に行っているが、以前に比べると大きな外出イベントで出かけることが、少なくなった。	年に2回程度、気候がよい時季に無理がない計画を立て、外出イベント(外食・花見・動植物園・水族館等)を行う。	先ず、ランチ外食を行い、気候がよい時季になったら外出イベント(秋のコスモス見学等)にて共有の楽しみ事を実施する。また、身体面で参加できない方は、車の中から季節を感じてもらうドライブ等、工夫をして外出援助に努める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。